



柳川雛祭り実行委員会会長  
市観光協会会長

渡邊 力 さん（本町・61歳）

「さげもん」の良さを  
しっかり伝えたい

私の娘が初節句のとき、親戚から「さげもん」をいただきました。当時の「さげもん」は、今のようなきらびやかさはありませんでしたが、しっかり思いがこもっていて、今も大切にしています。

「さげもん」はもともと売り物ではなかったし、赤ちゃんの成長を願い、身内の人たちが心を込めて作っていたものです。20年の節目に、この「さげもん」に込められた思いを、もっと知ってもらいたいと思います。

初節句を迎える家は、「さげもん」を飾り、「寄っていかんかんも」「見ていかんかんも」と親戚や近所の人に呼びかける。見た人も、見てもらった人も感動する「さげもん」。この伝統の良さを、これからもしっかり伝えていきたいと思っています。



おひな様始祭



さげもん展示即売会



おひな様水上パレード

### 「さげもん」をイベントに

「柳川雛祭り・さげもんめぐり」は平成7年3月に、市観光協会が中心となって始まりました。そのころ、水不足で観光客が減少していた柳川では、何か新しい取り組みが必要でした。そこで、「さげもん」を取り入れた柳川独自の「雛祭り・さげもんめぐり」を始めることにしました。当時は、各家庭に眠っている「さげもん」を集めようと、両開や昭代、蒲池の婦人会などに協力してもらったそうです。

翌年からは、着飾った子どもたちの「おひな様水上パレード」が始まり、マスコミからも注目されるようになりました。また市内の商店街のあちこちでさげもんが飾られるようになりました。見どころも増えるようになりました。

柳川市や旧吉井町（現うきは市）、大分県日田市で始められた雛祭り、九州各地で開かれるようになり、九州全体で観光客を呼び込もうと、12年に「九州のひなまつり広域振興協議会」が結成されました。



古賀民子さん（横山町・69歳）

### 家にある布を使い その人の思いを伝える

昔は素朴な「さげもん」が多かったと思いますよ。お雛様を買いお金が多かったから、家にある古布や紙を使い、花などを作ってさげしていたようです。戦前に作られたという「さげもん」を見たことがありますが、どの時代も子どもを思う気持ちがこもっていると感じます。

「さげもん」を頼まれて作るときは、その家にある布を一つでもいいから、入れるようにしています。家にある布を使い、その人の思いを伝えていくことが、さげもんの原点ですからね。



# 20年目の春 柳川雛祭り さげもんめぐり

柳川の春を彩る「柳川雛祭り・さげもんめぐり」。平成7年に始まったこのイベントも今年で20年目を迎えます。今年も2月11日の「おひな様始め祭」から4月3日の「流し雛祭り」まで約50日間におたつてさまざまな催しが開催されます。特に今年20周年を記念した企画も準備中です。今回は、「さげもん」の魅力や、柳川雛祭りの歩みなどを紹介します。

子どもの成長を願い「さげもん」を飾る

「さげもん」は柳川地方の庶民の文化として、江戸末期に始まったといわれています。以来、女の子の初節句のお祝いに、健康やかな成長を願って、祖母や親戚、近所の女性などから「さげもん」が贈られていました。

2月11日(火・祝)～4月3日(木)

# 柳川雛祭り さげもんめぐり 催しもの

## おひな様始祭

柳川雛祭りさげもんめぐりの始まりを告げるイベント。お雛様の山車が市内を練り歩きます。

◆とき 2月11日(火・祝)、午前10時～◆ところ 日吉神社(坂本町)ほか

## ときめきひな灯りと巨大さげもん

柳川商店街通りを、ほのかなさげもんの明かりが彩ります。

◆とき 2月11日(火・祝)～4月3日(木)

## 雛巡り舟運行

辻門から沖端まで、普段川下りでは通らないコースに行く、この時期限定の定期便です。

◆とき 3月1日(土)、2日(日)、8日(土)、9日(日)、15日(土)

◆ところ 辻門付近

## 恵美須ひな小路

昭和の町並みが残る裏路地でひな飾りを楽しめます。

◆とき 3月1日(土)～16日(日)◆ところ 恵美須町西方寺周辺

## 沖端ランタン

お内裏様とお雛様などの大型

ランタンが彩りを添えます。

◆とき 3月1日(土)～4月3日(木)

## 還り雛祭り

還暦を迎える大人の雛祭り。無病息災を願う儀式などの他に、甘酒や桜茶での接待、オリジナルおはじきなどもプレゼント。参加料5000円(要事前予約)。

◆とき 3月2日(日)、午前9時30分～午後3時◆ところ 日吉神社(坂本町)

## さげもんミニフェスタ

40以上のさげもんを展示する他、柳川の物産販売など。

◆とき 3月6日(木)～9日(日)※3月の23日(日)まで「さげもん」は展示します。

◆ところ JA柳川農業倉庫(本城町)

## 柳川きもの日和

柳川のまちが着物を着た人のにぎわいます。ぜんざいのふるまいや、当日着物で来た人にはネイルアートなどの特典あり。

◆とき 3月9日(日)、午前10時～午後3時◆ところ 市観光案内所、沖端舟溜り

## おひな様水上パレード

お内裏様とおひな様、稚児たちがドンコ舟で進みます。

◆とき 3月16日(日)、午前11時に市観光案内所前出発、午後0時20分ごろ三柱神社到着(雨天時21日)※着物姿でパレードに参加する7歳以下の女の子と母親を募集します(先着50組)。

## おひな様里親さがし

飾らなくなったひな人形を新たな里親に渡します。

◆とき 3月23日(日)、午後1時～◆ところ 日吉神社(ひな人形の受け付けも)

◆人形受付期間 3月1日～22日

## 流し雛祭

子どもたちが作ったひな人形を舟に飾り水上パレードします。

◆とき 4月3日(木)、午前10時～◆ところ 柳川古文書館前川下りコース～日吉神社

◆おひな様フォトコンテスト

◆受付期間 4月4日(金)～20日(日)

【問】市観光案内所(☎74・0891)



おひな様里親さがし



沖端ランタン



北島邸(稲荷町)での雛祭り



▲柳河小学校4年生が完成させた「さげもん」。雛祭り期間中は恵美須町の西方寺に飾られる他、これまで卒業生が作った30余りのさげもんも、今回初めて三柱神社の省耕園に飾られます

## 新しい見どころ 「さげもんミニフェスタ」

雛祭り実行委員会の中に設けられた20周年記念事業特別部会の高橋努(たかはし)部長(垂見46歳)は、「さげもんを無料でじっくり見てもいいところをつくりたい」と話します。記念事業の目玉は、3月6日から9日まで本城町にあるJA柳川農業倉庫で開催される「さげもんミニフェスタ」。40以上のさげもんが勢ぞろいし、「感動してもらおうよう工夫しながら飾り付けをします」と高橋さん。会場内のステージでは、伝統芸能などが披露される他、会場の外では柳川の物産販売も行われます。この期間中は、旅行会社が募集した全国の約5000人の観光客が、会場を訪れる予定です。また同部会では、

## 市内の民家でもさげもんを展示するなど、今までにない新しい見どころを増やす考えです。

## さげもんの文化を継承

「さげもん」作りは現在、公民館やサークルなど、市内で盛んに行われています。参加者に話を聞くと、「人に贈るのが楽しい」「仲間づくりができていい」「手先を使うので老化防止になりますよ」など、参加者の顔は生き生きと輝いています。また「さげもん」や「柳川まり」作りは、柳河小学校をはじめ、柳川中学校や柳南中学校でも行われています。親から子へ、子から孫へと地域で受け継がれる「さげもん」。これからは柳川の大切な伝統文化を、地域でしっかりと受け継いでいきたいと思います。

## 沖端に「おもてなしお茶処」



▲代表の森田精子さん(前列左から2人目)ら折り紙細工の制作を行う「沖端女性の会」

雛祭り期間中、観光客で賑わう沖端地区に、「沖端おもてなしお茶処」ができます。沖端地区の女性たちのボランティア団体「沖端女性の会」が実施するもの。沖端を訪れる観光客をもてなそうと、会員で稲荷町の北野リ子さん宅駐車場にテントを張り、観光客などにお茶や自家製の漬物などを出して、おもてなしを行います。さらに北野さん宅内に創作のひな壇やさげもん、手芸品などを飾ったギャラリーをつくり、外から見学できるようにする他、会員が作ったドンコ舟の折り紙細工もプレゼント。代表の森田精子さん(稲荷町・72歳)は「柳川に来てよかったと、良い思い出をつくってもらいたい」と張り切っています。

## おもてなしシンポジウム 柳川のおもてなし文化を後世に伝えよう

柳川雛祭り実行委員会は1月19日、水の郷ホールで、柳川雛祭り・さげもんめぐりが20周年を迎えることを記念して「おもてなしシンポジウム」を開き、講演やシンポジウムで「さげもん」やおもてなし文化について考えました。同シンポジウムでは、歴代の雛祭り実行委員会会長が取り組みを紹介。また柳川でできる「おもてなし」について意見を交わしました。アドバイザーを務めた九州大学の坂元一光教授は初節句を公開する家が少なくなっている現状に、「雛祭りを見てほしいという人や場所を発掘し、横につないでいくことが大切」と話しました。



▲歴代の雛祭り実行委員会会長らがパネリストとして参加した



無料上映会  
●日時 2月16日(日)、午前10時～  
●会場 あめんぼセンター2階AVホール  
※入場整理券は、市役所柳川庁舎2階観光課と図書館本館で配布します。  
問い合わせは、市観光課(☎77・8563)へ。

### 城堀の水落ちは2月13日～2月22日

2月16日には「堀と道クリーンアップ大作戦」

水落ちの期間中は火の用心  
水郷柳川の風物詩「水落ち」が2月13日から22日までの10日間行われます。期間中は市街地の掘割の水が少なくなり、防火用水が不足します。火の取り扱いには用心してください。

掘割をみんなできれいに  
市と道守ネットワークは、城堀の水落ちの期間を利用して、地域の人や各種団体も参加して、城堀と道路の一斉清掃を行います。ボランティアでの参加も大歓迎です。

8時から約2時間(小雨決行)

■日時 2月16日(日)、午前

堀と道クリーンアップ大作戦  
掘割清掃マップ

■集合場所 ▼あめんぼセンター前▽沖端二丁目樋(有明の幸モザイク画)前  
■持ってくる物 長靴、作業用手袋、タオル、鎌など  
問い合わせは、市水路課水路管理係(☎77・8742)へ。